

光市認知症ケアパス

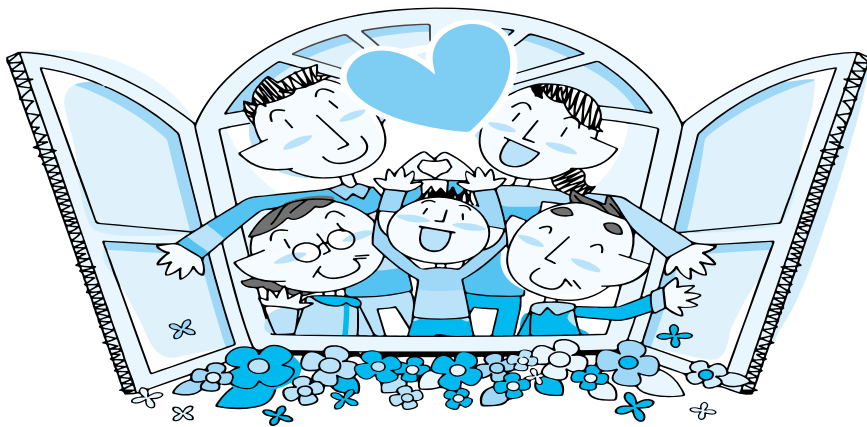
～認知症になっても安心して生活するために～

認知症

情報ガイドブック

認知症の予防・治療・介護サービスなどの情報ガイドブックです。認知症の人やその家族に対する、きれ目のない適切な対応や支援の内容を掲載しています。認知症は誰もが避けてとおれない問題です。ご自身の問題として、また、今後の備えとして、この冊子をご活用下さい。

この冊子は、認知症を理解し、認知症の予防から軽度・中度・重度の認知症状に応じ、どこでどのような支援やサービスを受けることができるかまとめたものです。



光 市

【はじめに】

高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加し、10年後の2025年には約700万人、5人に1人が認知症高齢者と予測される中、市民の認知症に対する関心も高くなっています。

しかし、現状では、認知症についての理解が十分でなかったり、病気を恐れるあまり発見や対応が遅れ症状を悪化させたりと、認知症の方への対応が適切でないため介護が困難になるなどの状況も見受けられます。

認知症の人は何もわからない、できない人ではありません。周囲の人たちの適切なサポートがあれば、社会の一員として生活していくことができます。

このたび、光市では認知症の人が、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするために「認知症情報ガイドブック（光市認知症ケアパス～認知症になっても安心して生活するために～）」を作成しました。

認知症の予防から医療・介護・福祉及び権利擁護に関する情報源を得ることで、認知症の人やその介護者が適切な支援を受けることのできる「手引書」として活用してください。

★ 認知症の人と家族の人に

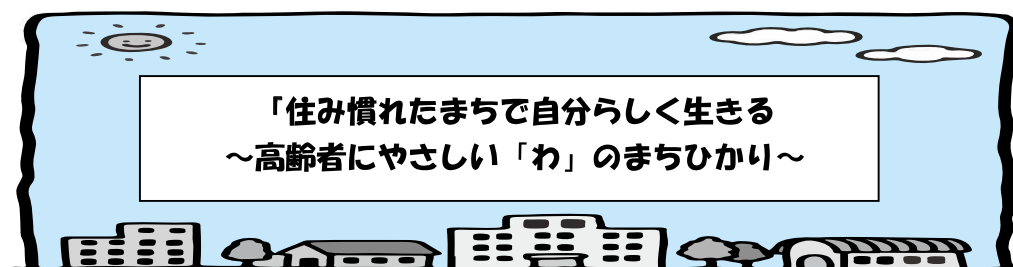
認知症状の段階に応じ、その人の状態に合った対応・治療・介護サービス等を受けることができているか、また将来的にどう対応したら良いか確認するためのガイドブックとして活用して下さい。（「目次★」が参考となる項目です。）

◎ 認知症の人とその家族を支援する人に

医療・介護の関係者や地域の方は、認知症の人やその家族が適切なサービスや支援が受けられるよう、相談への対応やアドバイスをする時のガイドブックとして活用して下さい。（「目次◎」が参考となる項目です。）

◆ 認知症について知識を得たい人に

認知症について理解し、予防や早期の対応を学ぶことで、今後の生活への備え、介護予防、早期対応に努めるためのテキストとして活用して下さい。（「目次◆」が参考となる項目です。）



目 次

	参考項目	内 容	ページ
1	◆	認知症について理解しましょう	1～5
2	◆	「もの忘れ」のチェックをしてみましょう	6～7
3	★	認知症の状態と生活上のポイントを確認しましょう	8～9
4	★	認知症状のある人への対応方法を知りましょう	10～13
5	★	支援サービス一覧表（認知症ケアパス）の活用方法を知りましょう	14
6	★◎◆	支援サービス一覧表（認知症ケアパス）を確認しましょう	15～18
7	★◎◆	支援サービス一覧表（認知症ケアパス）のサービスや社会資源を知りましょう ○ 気軽に相談しよう ○ 認知症を理解しよう ○ 認知症の予防・悪化の防止をしよう ○ 出かけよう・ふれあおう ○ 社会での役割をもとう・生きがいをもとう ○ 受診・療養をしよう ○ 介護保険を利用しよう ○ 地域で高齢者を見守ろう ○ 福祉の制度を利用しよう ○ 権利擁護のための支援を受けよう ○ 安心して生活しよう	19～20 21 21～22 22～23 23 23～24 24～26 26 27～28 28 29
資料	◎◆	一覧表① 認知症の相談ができる医療機関 一覧表② 認知症の診断ができる専門医療機関 認知症疾患医療センター 一覧表③ 認知症の人の歯科診療ができる医療機関 一覧表④ 薬について相談できる薬局 一覧表⑤ 認知症に優しいお店	30 31 32 33 34
参考	★	○「わたし」の地域資源マップを作りましょう! ○ひかり見守りネット（徘徊高齢者等事前登録）	35 36

★◎◆のマークは、それぞれの対象について特に参考となる項目を示しています。

★・・・認知症の人と家族の人に（認知症の人とその家族）

◎・・・認知症の人とその家族を支援する人に（ケアマネジャー、医療・介護関係者、相談員等）

◆・・・認知症について知りたい人に（市民）